

看護部通信

#IOSPY

2020.12.発行 第54号
ホスピーグループ腎透析事業部看護部

ごあいさつ

2020年11月1日
新生会クリニック開院

皆様、COVID19感染対策への取組みありがとうございます。全てにおいて通常の活動が制約されています。中でも、工夫をしながら形を変えて実践が継続できていることは、私たちの大きな力になっています。各自十分な体調管理をお願いします。
宮下美子



11月1日、新生会第一病院があった瑞穂区玉水町に「新生会クリニック」が誕生しました。開院時、2階50床、3階25床(内5床は、隔離透析に対応)の計75床からスタートです。今回移転に際し、ホスピー腎透析事業部の部署から多くの支援をいただきました。その支援のおかげで初日から日頃と変わらない透析治療を提供することができました。患者さんの転籍にご協力いただいた新生会第一病院 透析室・平針記念クリニック・鳴海クリニックの皆様、また各施設からご協力いただいた臨床工学部の皆様、引っ越しにご協力いただいた新生会第一病院 事務部の皆様、患者さんの誘導係をやっていた宮下統括看護部長と片村看護部長など多くの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもっと患者さん方に安心・安全を提供し信頼されるクリニックにするために邁進していく所存です。最後に新生会クリニックの特長をひとつ挙げるとしたら「看護部カンファレンス室」の設置です。委員会活動をはじめ看護部同志が育ちあう場(環境)ができました。コロナ禍のためソーシャルディスタンスを保ちながら活動できます。宝の持ち腐れとならないよう、どんどん活用していきます。グループ内の皆様、是非一度ご見学ください。

新生会クリニック 吉田師長

【コロナ禍での現任教育委員会の取り組み】

今年度は新型コロナ感染症対策をしながら、どのように研修を行えばいいか？をみんなで話し合いながら進めていきました。3密にならないように研修時間・回数など検討し、地域の感染状況を見ながら、何度も研修内容の見直しを行いました。そして、集まることを断念し、ZOOMの研修を取り入れました。その一つであるベーシック①の研修の取り組みを紹介します。



研修担当者の声……

- 最初はZOOM研修のイメージがわからず大変でした。
- 参加者がZOOM研修でも、参加できた(発言できた)という事が感じられるように工夫しました。
- 限られた時間やZOOM研修なので目標を絞って行いました。etc



研修中のスクリーンショットです。

研修生の声……

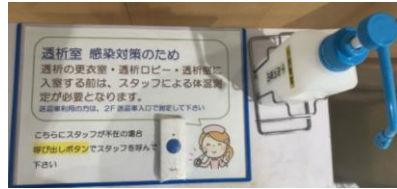
- ZOOM研修で周りに人がいなかったの、いつもより話せたと思います
- 話し出すタイミングが難しかったです。
- 移動がなく参加できるのは、いいと思いました。etc

現任教育担当 澤村師長

新型コロナウイルス感染対策



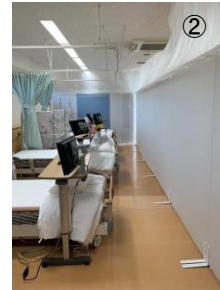
新生会第一病院透析室



- ①スクリーンを立てる
- ②コンソールのモニターは職員が見やすいように向けておく

発熱者及び濃厚接触者の透析は、16:00～、他の患者と離れた場所で、ナカ透析勤務者で対応しています。外来の午後診療の患者、入院患者への面会者など見えますので、外来・病棟スタッフとも協力し、他の方々との接触が無いように注意しています。

平針記念クリニック

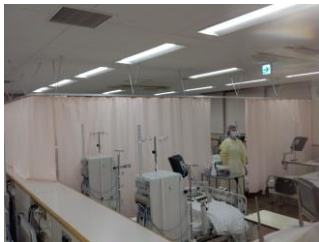


他の患者さんとの接点をもたないように入室時間をずらしています。

歩ける患者さんは①の写真の非常用の螺旋階段から上がってもらいます。歩けない患者さんは、玄関から車いすで他の人と接することのないように入室します。②の写真は、隔離透析をするために、ナカHD、ヨルHDを行わないフロアの端の4ベッドをパーティションで仕切って、使用しています。

金山クリニック

3階フロアに6床を囲むようにカーテンを2か所設置しました。カーテンは取り外し消毒、洗濯ができる物にしました。これにより、3階で火クール中・夜に、コロナ陽性患者や濃厚接触者、発熱者が他の患者と接触せず十分に隔離透析が行える環境を整えました。



鳴海クリニック

ビニールシート



2階フロアの3床を隔離用としています。消毒可能なパーティションで囲い、天井から床までビニールシートで空気の流れを遮断。透析室と廊下をつなぐ倉庫を専用通路として使用しています。モニターで遠隔監視できる環境を整えました。

東海クリニック



隔離PPEコロナ インフルエンザ

1. コロナ疑・コロナ陽性者用クールを設けました。
2. 患者来院時スタッフ間で連絡を取りあうことで、他患者等との接触を避けるようにしています。
3. 連携病院の感染管理認定看護師に当院の感染対策についてラウンドとレクチャーをしていただきました。

東海知多クリニック



当院の透析室は1フロアで、感染者用ベッドは入口側から奥の方の角に固定し、ビニールカーテンで隔離しています。当院は火木土の中間・夜クールは無いため、発熱・コロナ疑いの場合は月水金クールで他の患者と接触しないように時間帯(16時開始)をずらして透析しています。



2020年11月から玄関横に非接触の体温測定機を設置しています。入館者は必ずここで体温測定していただきます。

